

小学校高学年

ねらい 消費以外のお金の使い方を知り、お金で世界を幸せにする方法があることに気づく

時間 45分×4回 **形式** 4人1組のグループワーク

1 時間目 ▶ お金ってなんだろう

- ① お金の歴史をテキストで知る。現物を用意できると良い。
- ② P1～2「WARMING UP WORK」を行う。
→各問題で隣の人と意見交換→全体でシェア
- ③ P4「WORK」おじいちゃんに1万円もらったとして、どのように使うかを考える。
→グループでシェア→全体でシェア
- ④ 「お金で誰かを幸せにする方法はあるか」を考える。
- ⑤ 「お金で世界を幸せにする方法はあるか」を考える。
→それぞれグループでアイデアを出す
→全体でシェア

2 時間目～3 時間目 ▶ 調べよう、学び合おう、お金の4つの使い方

- ① 消費・貯蓄・投資・寄付の意味を各ページの最初の「問い」で知る。
- ② グループ内で消費・貯蓄・投資・寄付から調べるテーマを分担する。
- ③ 1人1テーマで調査し、まとめる。
→できればテキスト(冊子)と合わせてインターネットも活用。
まとめかたは A4 の紙や keynote など学校の実態に合わせる。
「お金の使い方、どうやって世界を幸せにできるのか」を軸にする。
- ④ グループでシェアする。

4 時間目 ▶ 未来を良くするお金の使い方って？

- ① 消費・貯蓄・投資・寄付について全員で振り返る。
- ② 貯金箱を組み立てる。
- ③ 1万円を自分の考えで再度振り分ける。
- ④ なぜそう振り分けたのかをグループでシェアする。
- ⑤ 全体で何人かの意見をシェアする。
- ⑥ 1時間目の自分と4時間目の自分の変化を「振り返りシート」に書く。

未来を良くする お金の 使い方

SDGs×^{きんゆう}金融＝ありがとうのつながり

授業案

(新渡戸文化小学校、新渡戸文化中学校・高等学校作成)

中学校

ねらい 未来を良くするためのお金の使い方を学び、自分の価値観を考えるきっかけにする

時間 50分×3回 **形式** 4人1組のグループワーク

1 時間目 ▶ 「お金」とは何か？／お金の使い方

- P1～2「WARMING UP WORK」を実施し、学習前の自分のお金に対する価値観を知る。
- P2「昔のお金いろいろ」でお金の歴史を知る。以下のような現物教材があると良い。



- P2「信頼が支えるお金」で「今のお金を支えるのは、お互いの信頼関係」であることを理解する。
- P3「未来を良くするお金の使い方」で「お金は自分がやりたいことへの感謝の印」であることと「お金とSDGsとの関係」について知る。
- P4「WORK」で「ミッション！1万円の使い道」について貯金箱を作成して考える。消費や貯蓄以外にも投資や寄付があることを知る。

2 時間目 ▶ お金の4つの使い方（消費・貯蓄・投資・寄付）を調査

- 4人1組のグループを作る。
- グループの中で、担当（消費・貯蓄・投資・寄付）を決める。
- P5～20から、自分の担当箇所について調べる。
調べる際、テキストの内容以外に以下の点についても考えてみると良い。
 - それぞれの使い方のメリット、デメリット
 - 実際にどのようなお金の使い方があるか
 - 社会に良い影響を与える使い方は何か
 - ほかの使い方との違い
- それぞれ調べた内容をグループでシェアする。
貯金箱と同じ色の付箋やデジタル付箋を使用するとわかりやすい。
- グループごとに出た調査結果をクラスでシェアする。



3 時間目 ▶ 未来の自分を考える

- P23～24で「人生とお金の関係性」や「一人ひとりのお金の使い道が世界の未来に影響を与えている」ことを理解する。
- P25「WORK」で、もう一度1万円の使い道と理由を考え、記入する。
- P25「ADVANCED WORK」を実施。グループでシェアし、時間があれば全体で共有。
- P26を一読後、「お金の授業」全体の感想をクラスでシェアする。
*特に「お金の授業」を受ける前と受けた後の意識の変化について着目する。

高校

ねらい 中学校の「ねらい」に加えて、感謝の表現方法を「お金の使い方」を通じて学び、感謝の選択肢を広げる

時間 50分×2-3回 **形式** 4人1組のグループワーク

導入 ▶ 「お金」とは？

過去のお金を例に、お金とは何なのかを考える。「そもそもお金って何だろう？」という問いを軸に、お金の特徴や歴史についてポイントを絞って説明。実物教材が活用できると良い。

ワーク1 ▶ P4

問い：おじいちゃんに1万円をもらったらどうするか？

1万円分のカードを切り離し、自由に1万円の活用アイデアを考える
→グループでシェア

ワーク2 ▶ P5-20

消費・貯蓄・投資・寄付が説明されているページを、グループ4人がそれぞれ担当し、テキストやワークを通じて学習する。学習した内容は、他のメンバーにシェアしてもらうことも、あらかじめ伝えておく。

→グループでシェア

お金の使い方には4つの使い方があることを理解する

ワーク3 ▶ 貯金箱作り

ワーク4 ▶ P25

改めて… おじいちゃんに1万円をもらったらどうするか？

制作した貯金箱を使いながら、1万円分のカードを使って自由に活用アイデアを考える
→グループでシェア

おそらくワーク1では出なかった投資や寄付が選択肢として増えているはず。
→寄付先をみんなで調べて、シェアしてもいいでしょう。

未来のお金について ▶ P21～オープンエンド

問い：未来のお金はようになっていくのだろうか？

- お金の多様化がはじまっている事例を紹介…見えないお金（電子マネー・ポイント etc）など
- 未来のお金として、腐るお金（期限付きのお金）の可能性や、そもそもお金に依存しない経済循環の事例として、感謝経済、ギフト経済などを紹介する。